

栃の木からの手紙

2017年 6月号



自然体験。 異年齢交流。 コミュニケーション。

「生きる力を育む」方法の幾つか。

この時期、「田植え」や「大豆種播き」などの農業の継続体験が行政主導で小学生対象に行われています。

現代に生きる多くの大人・子どもたちにとって「非常の世界」。見たり・聞いたり・体験して考えた事は、きっと明日を生きる力になる。異常なまでの人口減少。企業誘致やインフラ整備…等だけでは済まない。本質的な何かが違う。農業や自然体験を通じて自然界の一員としての想いを抱ける様になる事も再生への微かな希。

視点…、いったい、何処を…。

5日： 芒種

9日： 満月 : 旧 5月 15日

21日： 夏至

24日： 新月 : 旧 6月 1日

25日： アスパラ 収穫体験 & 自然農法畑視察

時間 9時30分 ~ 12時

会場 オホーツク高橋農場

参加費 ￥500円

6月 水 無 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

【 自然界の流れ 】

この春、キレンジャク、ヒレンジャクがアスパラの種を食べに姿を見せませんでした。

5月5日頃、桜が咲くと白樺や落葉の木々の芽が動き始めていて桜が終わる頃には新緑の季節になる。柏の木は漸く枯葉を落とし新緑の芽吹きが始まる。

藻琴山の残雪が創り出す模様を見ながら農作業が終盤を迎え、桜が散り終わる頃作業終了。

平年では17日頃鳴くカッコウが5月21日に初鳴きして豆類の播種が始まる。蝦夷春セミは平年6月1日頃ですがここ数年初鳴きが早まって来て5月21日でした。

また、カッコウと同様に託卵をするツツ鳥はカッコウより早く9日には鳴いているのです。

白樺の若葉が出揃った6月1日。雨前に自然農法の畑の芋の本培土を行っていると葉っぱが筒状に丸まって畑に落ちているのに気付く。白樺の葉っぱです。成虫は見えませんが、1cm程の1匹の幼虫が中にいました。



5月 27日大豆播種体験



オトシフミ・葉巻虫の幼虫



【 ダンボール堆肥 】

大豆の播種体験を終えて、4月の家庭菜園セミナーで見て頂いた堆肥を、容れ物から開けて野菜屑や卵の様子を確認しました。3月28日に仕込んだ野菜屑などは、姿形が在りません。屑は、最初に写真の量を入れただけで途中追加していません。1週間に一度くらいかき混ぜます。米糠があれば、2週間に一度くらいかき混ぜる時に表面に振りかけます。

5月27日 野菜堆肥



3月 28日 卵と野菜屑



卵堆肥



米糠を振りかけます



4月 19日



醗酵する事と腐敗する事は違います。堆肥化するには、適度な温度・水分 そして攪拌。
腐らせない様に、虫が出ない様に挑戦してみてください。早ければ3ヶ月程で使用出来るかもしれません。